

本校で取得が可能な検定・資格一覧

グループ	技能審査の種類	グループ	技能審査の種類
情報・商業	商業経済検定	情報・商業	ホームページ作成検定
	社会人常識マナー検定		プレゼンテーション作成検定
	簿記検定		珠算・電卓実務検定
	簿記能力検定		電卓計算能力検定
	簿記実務検定		ビジネス文書実務検定
	情報処理検定		日本語ワープロ検定
	情報処理検定（表計算）		文書デザイン検定
英語	実用英語技能検定	危険物	危険物取扱者
書道	硬筆書写技能検定	福祉	北海道介護職員初任者研修
漢字	日本漢字能力検定		同行援護従業者養成研修一般課程
数学	実用数学技能検定	保育	保育技術検定

（４）特色ある授業の紹介



本校には、100 を越える設置科目があります。ほんの一部ではありますが、授業の様子を紹介します。

←努力のあとに栄冠あり！（数学：「数学Ⅲ」）

少人数授業のメリットを生かし、個人個人に応じた指導が行えるのが強みです。「数学が苦手」という生徒でも、高校入学後にどんどん実力を伸ばす生徒も多くいます。



個別レッスンで上達！（音楽：「器楽Ⅱ」）→

本校には音楽専科の教員が2名います。また、多彩な専門分野の「民間非常勤講師」がいます。その利点を生かし「器楽Ⅱ」（3年次選択科目）では個人レッスンをしています。



←コンピュータでデザインする（情報：「情報デザイン」）

デザインをコンピュータで行うことが多くなっている昨今、その知識や技術を身に付けておくことは将来、きっと役に立つはずです。この授業では、デザインに関する基礎を学習後、コンピュータを利用してポスターや新聞等の視覚的情報をデザインし、作品制作を行います。

売れる仕組みとは？（商業：「マーケティング」）→

オンラインショップを通じて商品を購入するネット通販の利用は、私たちの生活の一部になりました。それは便利だから売れるのでしょうか。低価格や品質の良さ、宣伝はどのくらい効果があったのでしょうか。多くの人に商品を買ってもらうための企業の活動、これこそがマーケティングなのです。



←健康な生活作りを研究・実践する（体育：「エアロビクス」）

本校では最新のスポーツ科学の成果を踏まえたトレーニングを始め、スポーツ概論などその範囲は多分野に渡ります。一般的な体育授業に留まらず、さまざまな器具を用いたトレーニング方法を学んだり、様々な年齢の人々が取り組めるスポーツの実践に取り組んでいます。エアロビクスではダンスを中心に有酸素運動を学びます。



←「衣生活」において、「できる」を増やす

（家庭：「ファッション造形基礎」）

4月から基礎縫い練習に取り組み、この日は、パジャマの印付け。パターンを利用し、初めての立体構成にチャレンジ！たくさんのパーツに分かれた型紙に悪戦苦闘していますが、自分のサイズに合ったパジャマを頑張って仕上げます。秋には、スカートに挑戦します。

高齢社会で何ができるか（福祉：「介護実践Ⅱ」）→

「福祉」は現代社会において必須の学習事項かもしれません。単なる知識だけではなく、福祉マインドを身につけ、多様な場面で福祉の観点を通して物事を考える姿勢を養います。



（５）本校の「宝」、学校図書館

課題研究の授業では、テーマについて深く調べることが必要になります。また、選択授業によっては、各自で調べたり、自分の考えの根拠をつかんだりすることが必要です。本校の図書館は、そんな生徒のために、いつも「フル稼働」しています。

**困った時は図書館へ！
図書館は皆さんの人生を応援します！**



9. 生活指導について

本校では、学習面では非常に自由度が高く、一人一人の個に応じた教育が推進されています。

しかし、その自由度の高い学習面を支えることができるのは、「自由という行動への責任をしっかりと持つことができる力」、「自分を律し、自己を管理する力」です。

石狩翔陽高校は、こういった点をいい加減にしないよう指導をしています。それは最終的に、社会人としての「自分」を完成させることにつながりますし、「自己実現」の大きな武器になります。

時に本校の生活指導は「厳しい」と言われることがあります。総じて「中学校時代より厳しい」と言われます。具体的には、登校時間を守る、挨拶がきちんとできる、制服の美しい着こなし、頭髮の清潔感の維持、私語をせず静粛な中で授業を受ける、スマートフォンのマナーを守って使用する、ゴミの分別をきちんとする、清掃にしっかり取り組む、交通安全の遵守、登下校の交通機関（バス・電車）内で一般のお客様に迷惑をかけないよう利用する・・・。

落ち着いた学習環境を保障する、という目的と、最終的には社会で通用する素養を身につけてほしいという願いから取り組んでいます。



10. 進路指導について

<進学指導>

平常講習、春・夏・冬期講習、職業意識の高揚をはかる諸活動、作文指導、面接指導などによって、生徒一人ひとりの進路希望に即した指導を行っています。最近、大学等の入試方法が多岐に渡っています。一般入試はもとより、推薦入試・指定校推薦入試・総合型選抜など、様々な方法でチャレンジする機会が与えられており、募集人数も増加の傾向にあります。

本校では1年次から多くの経験や体験を通して、進路について考え、早い段階で進路を明確にすることができるので、実現に向けた取り組みを早くスタートさせることができます。



上級学校は、目的意識のある生徒を求めています。「推薦入試」の機会が増えた今日、学ぶことに対する目的意識、社会に出るに当たっての目的意識が問われます。「産社」や「課題研究」の取組は、社会に対する目を広げ、目的意識を高めるのに格好の取組です。

また選択科目で受験に必要な科目を重点的に学ぶということもできます。

■ はばたけ自分、はばたけ未来。 ～広がる想い無限大～ ■

当然ですが、進学のためにその先には「就職」があります。下の＜就職指導＞もよく読み、理解してください。

＜就職指導＞

「やりたい仕事」ではなく「やれる仕事」「やってみようと思う仕事」から企業を選んでいかなければなりません。そのためには、「やれることを増やす」ことが大切になります。

これは、学習成績・出席状況の向上や資格・検定の取得等もちろんですが、高校3年間の「生活全般」の中で行います。

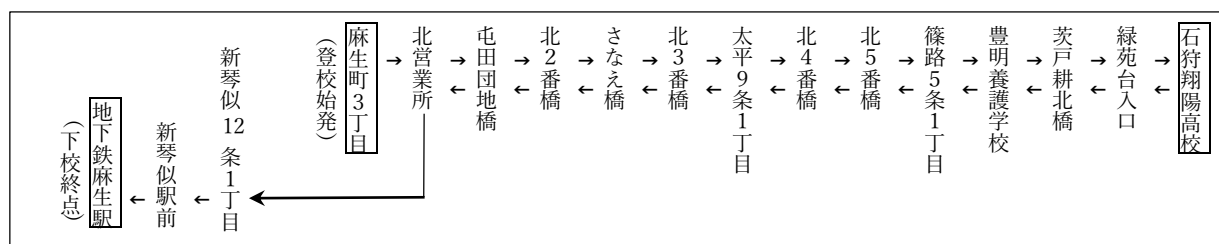
「真面目さ、素直さ」はもちろん大切です。しかし、今の企業は、残念ながらそれだけでは採用してくれません。多くのことにチャレンジし、多くの失敗を経験し、それでも前進しようとする「たくましさ」を何より求めます。部活動や行事への取組といった、日常生活のあらゆる面で「チャレンジする場面」が毎日訪れます。検定などの取組もその一環ですが、「資格」があるからといって採用が有利になるとは限らないのです。検定への取組を通じて、自分の人間性を高めていくことが求められているようです。翔陽生には、入社後もっとも苦労するといわれる人間関係面も含め、毎日逃げずに、少しずつやれることを増やしていくことを勧めています。

同時に、「産社」「課題研究」などの総合学科独自の学習を通して「今の世の中の課題」に気づき、「自分はこのように貢献したい」という“願い”を持って社会に出てほしいと考えています。どのような職業においても、「社会に貢献したい」という意識が求められているからです。

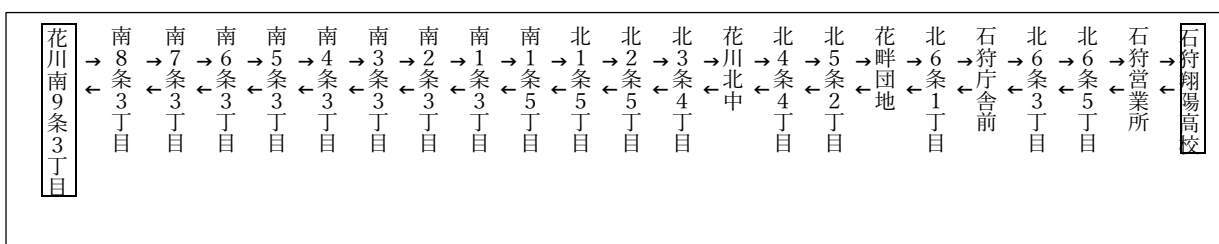
1 1. スクール便について

本校ではほとんどの生徒がバス通学をしています。（夏期は自転車通学をする生徒が多いです）JR や地下鉄を利用する生徒は麻生からバスに乗ります。麻生からのスクール便を利用すれば、約20分で学校至近の停留所に着きます。スクール便の運行時間以外には、「08」系統のバスが1時間に1本程度出ています。なお、スクール便には花川からの便もあります。

麻生 ←→ 石狩翔陽高校



花川 ←→ 石狩翔陽高校



本校の通学状況は、石狩市全域と札幌市北区の生徒が大半を占めますが、東区、西区、手稲区からの通学生も約10%通っています。